

《どうでもいい話、その 525》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！たまには どうでもよくない話をします

このところテレビのトップニュース、新聞の一面は「新型コロナウイルスの感染拡大」の報道だらけです。ただ感染者数の全国民比率はごく低く死亡率も2%くらいです。それに比べ同時期に流行っているインフルエンザは、私の二人の孫の小学校、中学校も学級閉鎖があり二人とも1週間休んでいました。インフルエンザは、全国的にみると新型肺炎の何百倍もの人が感染し、高齢者で亡くなった方もかなりいると思います。それなのにそういった記事は、ほとんどありません。また、これは神戸市での出来事で、関西以外の地域は報道されていないかもしれませんが、先日、午前3時ごろ親から家を追い出された小学6年生の女児が、神戸市中央区の児童相談所に行って助けを求めたのに対し、夜間の当直業務を受託しているNPO法人の職員がインターホン越しに「警察に行きなさい」と追い返し、職員の対応のまずさを指摘したニュースがありました。そのNPO法人は私が所属している団体です。この問題は、確かに職員の対応の仕方はまずいですが、一番悪いのは、女児の親です。凍え死ぬかもしれない寒い真夜中に、子供を家から追い出し虐待しているのです。ただ親のことは、テレビも新聞も非難せずに、外部の対応者を攻めています。どうも最近の報道は、本質から逸れ、偏っているのではないのでしょうか。

岩波より